消費者動向調査 No.125

テーマ「ボーナスに関する調査」

- ◆ 調査時期 2019 年 11 月
- ◆ 調査対象 福岡県内のボーナスがある家庭の 500 人 (うち男性 245 人、女性 255 人)
- ◆ 回答者区分A.年代

	%
20代	14. 6
30代	25. 4
40代	20. 0
50代	21.8
60代	18. 2

B.あなたのご家庭で ボーナスがあるのは

	%
夫だけ	72. 6
妻だけ	8. 6
両方	18. 8

※当調査は情報提供を目的として作成されたものであり、その正確性・確実性を保証するものではありません。

西日本シティ銀行 NCBリサーチ&コンサルティング

[調査結果本文]

内閣府は11月の月例経済報告で、「景気は、輸出を中心に弱さが長引いているものの、緩やかに回復している。」と発表しています。先行きについては、「当面、弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、通商問題を巡る緊張、中国経済の先行き、英国のEU離脱の行方等の海外経済の動向や金融資本市場の変動の影響に加え、消費税率引上げ後の消費者マインドの動向に留意する必要がある。」としています。

このような中、消費者はこの冬のボーナス受給額をどのように予想し、どのように消費しようと考えているのでしょうか。また、冬のボーナスの使いみちについて、これまでと違った傾向は表れつつあるのでしょうか。ボーナス受給を間近にひかえ、福岡県在住の家庭を対象に冬のボーナスについての消費動向をたずねました。

なお、女性の就業率や共働き世帯の増加を背景として、2018 年夏の調査より調査対象者を 男性・女性(従来は女性のみ)としたほか、調査方法をインターネットによるアンケート (従来は文書)回答方式に変更しています。

そのため、従来に比べデータが大きく変動している設問がありますが、調査方法の変更に 伴う補正は行わず、単純な比較を実施しています。

◆ 今年の冬のボーナス、昨年より「多くなる」は 10.4%。

冬のボーナスが昨年より「多くなる」と予測する割合は 10.4%となった。「少なくなる」は 21.4%、「同じくらい」は 68.2%であった。

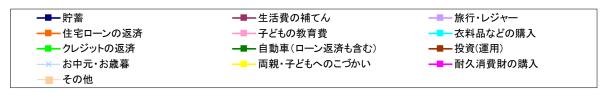


[グラフ1:今回の冬のボーナスは昨年に比べどうなると予想していますか]

◆冬のボーナスの使いみち予定、1 位は「貯蓄」で 51.8%。2 位は「生活費の補てん」で 30.8%。

冬のボーナスの使いみち予定、1 位は「貯蓄」で 51.8%。2 位は「生活費の補てん」で 30.8%。 3 位は「旅行・レジャー」で 18.6%となった。

「グラフ2:今回の冬のボーナスは何に使う予定ですか(3つまで)]



(単位:%) 70.0 60.0 50.0 40.0 30.0 20.0 10.0 0.0 2016夏 2016冬 2017夏 2017冬 2018夏 2018冬 2019夏 2019冬 ━貯蓄 58.7 58.7 51.2 57.1 51.2 58.0 57.0 51.8 ━ 生活費の補てん 25.7 29.3 28.6 25.8 25.0 29.4 27.0 30.8 43.6 40.3 43.9 38.2 26.2 19.2 22.6 18.6 ・旅行・レジャー 28.2 23.0 25.1 19.3 18.6 15.8 14.4 15.6 ・住宅ローンの返済 28.8 27.3 32.9 27.2 14.6 12.6 12.8 14.4 子どもの教育費 10.0 衣料品などの購入 22.6 28.5 22.4 27.6 8.6 11.0 9.8 4.9 6.9 5.3 8.8 8.0 5.6 6.2 5.6 クレジットの返済 14.9 10.0 - 自動車(ローン返済も含む) 11.8 8.8 9.6 6.6 7.8 5.6 4.8 3.1 1.8 2.6 4.4 3.8 3.4 投資(運用) 1.6 9.6 5.0 11.4 15.7 5.4 4.6 お中元・お歳暮 13.0 4.6 両親・子どもへのこづかい 8.7 6.9 5.1 8.9 1.2 2.2 2.2 2.6 耐久消費財の購入 8.1 7.9 14.0 3.2 2.8 4.4 2.0 その他

◆ボーナスを貯蓄・運用する目的、1位は「将来の生活費補てんのため」で 55.8%。2位は「老後資金の備え」で36.7%。

冬のボーナスを貯蓄する目的の1位は、「将来の生活費補てんのため」で 55.8%。2 位は「老後資金の備え」で36.7%。3 位は「将来の教育費のため」で28.1%であった。

「グラフ3:将来の何のために冬のボーナスを貯蓄・運用しますか(2つまで)」

-■- 将来の生活費補てんのため -■- 老後資金の備え(年金資金)
-■- 将来の教育費のため -■- 特に目的はないが将来の支出のため
-■- 旅行・レジャーのため -■- 住宅購入のため
-■- 耐久消費財購入のため -- その他

(単位:%) 70.0 60.0 50.0 40.0 30.0 20.0 10.0 0.0 2016夏 2016冬 2017夏 2017冬 2018夏 2018冬 2019夏 2019冬 39.6 43.4 44.3 44.1 53.8 50.7 59.5 55.8 - 将来の生活費補てんのため 29.9 28.9 29.6 29.5 31.1 29.5 31.5 36.7 ━ 老後資金の備え(年金資金) 38.6 36.0 38.2 29.9 27.3 27.5 27.7 28.1 ━ 将来の教育費のため - 特に目的はないが将来の支 24.7 25.1 26.3 26.2 14.0 15.1 10.0 15.0 出のため 20.3 20.4 19.6 21.1 12.1 10.0 8.6 旅行・レジャーのため 9.1 ━ 住宅購入のため 3.7 3.5 4.9 4.7 8.3 7.0 8.0 5.2 6.6 4.5 6.1 4.3 3.8 3.7 3.8 3.7 ■ 耐久消費財購入のため 11.0 14.2 0.0 0.7 0.4 その他 8.8 9.4

◆冬のボーナスを貯蓄・運用する場合の考えは、「元本の安全性を重視したい」が 1 位で、46.1%。

「元本の安全性を重視したい」が 46.1%で、19 期連続の 1 位。「収益性も考えるが安全性をより重視したい」が 39.3%。

[グラフ4:冬のボーナスを貯蓄・運用する場合、あなたの考えに近いのは]

-■ 元本の安全性を重視したい -■ 収益性も考えるが、安全性をより重視したい -■ 収益性を考えるが、安全性をより重視したい -■ 収益性を重視するため、積極的に投資したい

(単位:%)

70.0 60.0 50.0 40.0 30.0 20.0 10.0 0.0 2016夏 2016冬 2017夏 2017冬 2018夏 2018冬 2019夏 2019冬 60.2 46.1 元本の安全性を重視したい 62.4 56.5 56.3 52.3 51.7 53.3 収益性も考えるが、安全性を 29.0 33.9 30.9 33.1 32.6 37.2 38.1 39.3 より重視したい 安全性も考えるが、収益性を 7.8 8.1 6.9 4.8 5.4 4.7 12.9 12.4 より重視したい

3.8

1.8

3.5

5.9

2.2

3.0

1.7

2.2

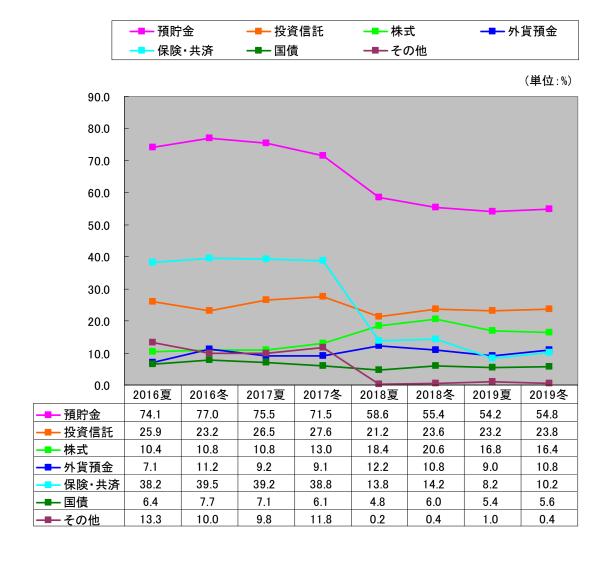
━ 収益性を重視するため、積極

的に投資したい

◆関心がある金融商品、1位は「預貯金」で54.8%

現在関心がある金融商品は「預貯金」が 54.8%で 1 位。 2 位は「投資信託」で 23.8%。 3 位は「株式」で 16.4%であった。

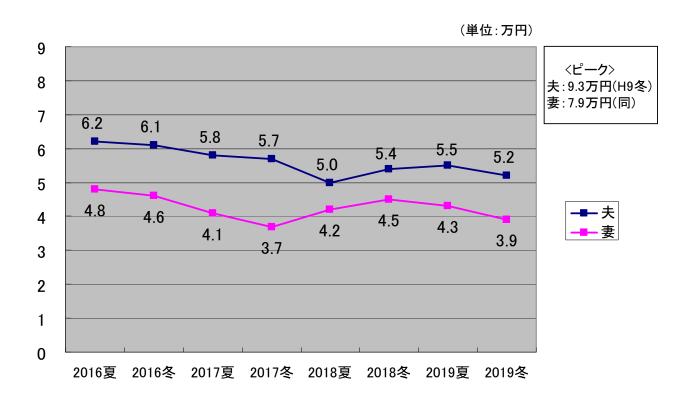
[グラフ5:どのような金融商品に関心がありますか(いくつでも)]



◆冬のボーナス、夫が自由に使える金額は平均 5.2 万円。妻が自由に 使える金額は平均3.9万円。

冬のボーナス、夫が自由に使える金額は平均5.2万円。妻が自由に使える金額は平均3.9万円。

「グラフ6:冬のボーナス、自由に使える金額はどれくらいですか」



この調査に関するお問い合わせ先

西日本シティ銀行 広報文化部 長谷川 TEL 092-461-1869

NCB リサーチ&コンサルティング 調査部 原 TEL 092-476-3051